



# Cisco Unity Connection で Cisco Personal Communications Assistant にアクセスするための設定

Cisco Personal Communications Assistant (PCA) は、インストール時に Cisco Unity Connection サーバにインストールされます。これは Cisco Unity Web ツールにアクセスできる Web サイトで、ユーザはこのツールを使用して、Unity Connection でメッセージおよび個人設定を管理できます。Cisco PCA では、次のような Web ツールを利用できます。

- Cisco Unity Connection Messaging Assistant
- Cisco Unity Connection Personal Call Transfer Rules

各ツールの詳細については、該当する『*User Guide for Cisco Unity Connection*』および各ツールのヘルプを参照してください。

次の項を参照してください。

- 「Cisco Unity Connection での Cisco PCA へのアクセス用 Web ブラウザ設定」 (P.1-1)
- 「Cisco Unity Connection での Cisco PCA の GUI 言語の変更」 (P.1-3)
- 「Cisco Unity Connection における SSL 接続で自己署名証明書を使用する場合のセキュリティアラートの管理」 (P.1-3)

## Cisco Unity Connection での Cisco PCA へのアクセス用 Web ブラウザ設定

Cisco PCA および Cisco Unity Connection Web ツールを使用するには、各ユーザワークステーション上のブラウザを設定する必要があります。コンピュータにインストールされているブラウザに応じて、適切な項を参照してください。

- 「Apple Safari」 (P.1-2)
- 「Microsoft Internet Explorer」 (P.1-2)
- 「Mozilla Firefox」 (P.1-2)

(各ブラウザでサポートされているバージョンのリストについては、[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/compatibility/matrix/cucclientmtx.html) から入手可能な『*Compatibility Matrix: Cisco Unity Connection and the Software on User Workstations*』を参照してください)。

## Apple Safari

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Safari を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html) から入手可能な『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』（リリース 10.x）の「Software Requirements—User Workstations」の項を参照してください。
2. 次に示すように Safari を設定します。
  - a. Java を有効にします。
  - b. Java スクリプトを有効にします。
  - c. 移動したサイトからのみクッキーを受け入れます。

## Microsoft Internet Explorer

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Internet Explorer を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html) から入手可能な『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』（リリース 10.x）の「Software Requirements—User Workstations」の項を参照してください。
2. 次に示すように Internet Explorer を設定します。
  - a. アクティブ スクリプトを有効にします。
  - b. ActiveX コントロールをダウンロードして実行します。
  - c. Java スクリプトを有効にします。
  - d. すべてのクッキーを受け入れます。
  - e. 一時的なインターネット ファイルの新しいバージョンを自動的にチェックします。
  - f. [ 中 - 高 (Medium-High) ] のプライバシーを有効にします。

## Mozilla Firefox

Cisco PCA にアクセスするには、次の作業を実行して Firefox を設定します。

1. 正しいブラウザの設定に必要なソフトウェアがインストールされていることを確認します。  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html) から入手可能な『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』（リリース 10.x）の「Software Requirements—User Workstations」の項を参照してください。
2. ユーザが Firefox を Apple MAC OS X または Microsoft Windows ワークステーションで実行している場合は、作業 3. に進みます。

ユーザが Firefox を Linux Red Hat ワークステーションで実行している場合は、[Alsa-project.org](http://alsa-project.org) の Web サイトにあるサウンドカード サポート マトリクスを参照して、ユーザが正しいサウンドカードを使用しているかどうかを確認します。(Java Runtime Environment (JRE) プラグイン ソフトウェアは、Advanced Linux Sound Architecture (ALSA) ドライバを使用して、システム サウンド デバイスにアクセスし、再生および録音機能を制御します。サウンドカードによっては、再生および録音機能が制限される場合があります)。

3. 次に示すように Firefox を設定します。

- a. Java を有効にします。
- b. JavaScript を有効にして、[ 詳細設定 (Advanced) ] で [ 画像の変更 (Change Images) ] を有効にします。
- c. サイトでのクッキーの設定を許可します。(セキュリティ上の理由から、送信元 Web サイトのクッキーだけを保存することを推奨します)。

## Cisco Unity Connection での Cisco PCA の GUI 言語の変更

Cisco PCA で使用される GUI 言語を変更するには、次の作業を実行します。

1. 該当する言語をダウンロードし、インストールします。詳細については、次の該当するマニュアルを参照してください。
  - 新規 Unity Connection サーバについては、『*Installation Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Installing Additional Languages on the Cisco Unity Connection 10.x Server](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/installation/guide/10xcucigx.html)」の章を参照してください。  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/installation/guide/10xcucigx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/installation/guide/10xcucigx.html) から入手可能です。
  - 既存の Unity Connection サーバについては、  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/upgrade/guide/10xcucrugx.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/upgrade/guide/10xcucrugx.html) から入手可能な『*Upgrade Guide for Cisco Unity Connection*』の「[Adding or Removing Cisco Unity Connection 10.x Languages](#)」の章を参照してください。
2. インターネットブラウザで言語を選択します。ブラウザで選択する言語は、Cisco PCA が提供する言語のいずれかで、Unity Connection サーバにインストールする必要があります。サポートされている言語のリストについては、次の該当する『*System Requirements*』マニュアルの「[Available Languages for Cisco Unity Connection Components](#)」の項を参照してください。
  - 『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』(リリース 10.x) は、  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/requirements/10xcucsysreqs.html) から入手可能です。
  - 『*System Requirements for Cisco Unity Connection*』(Cisco Unified CMBE リリース 10.x) は、  
[http://www.cisco.com/en/US/docs/voice\\_ip\\_comm/connection/10x/requirements/10xcumbesysreqs.html](http://www.cisco.com/en/US/docs/voice_ip_comm/connection/10x/requirements/10xcumbesysreqs.html) から入手可能です。

## Cisco Unity Connection における SSL 接続で自己署名証明書を使用する場合のセキュリティ アラートの管理

SSL Unity Connection を Cisco PCA に提供するため、インストール中に生成される自己署名証明書を使用すると、ユーザの Web ブラウザにサイトの信頼性を確認できないことを警告するメッセージが表示され、その証明書の内容を信頼できません。同様に、自己署名 SSL 証明書を使用して Unity Connection への IMAP 電子メール クライアント アクセスを保護すると、Unity Connection での使用がサポートされた一部の電子メール クライアントで、SSL セキュリティ メッセージが表示されます。

このアラートに関係なく、ユーザは Unity Connection にアクセスできますが、ユーザが Cisco PCA を閲覧したり、IMAP 電子メールクライアントからメッセージにアクセスするときのセキュリティアラートを管理または削除するには、次のいずれかの方法を検討してください。

- SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加します。そうすることで、ユーザにセキュリティアラートが表示されなくなります。次の「[SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する方法](#)」の手順を実行します。
- ブラウザまたは電子メールクライアントにアラートが表示されて対処方法が問われたときに、[常に受け入れる (Accept Permanently)] (または同等の) オプションを選択するよう、ユーザを指導します。ブラウザや電子メールクライアントで証明書を許可するよう指定すると、このアラートは再表示されなくなります。

ユーザにセキュリティアラートを再表示しないようにするには、次の手順に従ってください。

### SSL 証明書を各ユーザのワークステーション上の信頼できるルートストアに追加する方法

- 
- ステップ 1** Cisco Unity Connection サーバ上の OS 管理アプリケーションから、証明書をダウンロードするリンクをクリックして、証明書をファイルとして保存します。
- ステップ 2** 証明書を各ユーザワークステーションにコピーして、次にブラウザまたは IMAP クライアントでツールを使用してこれを必要に応じてインポートします。
-